

令和8年度
(2026年度)

事業計画書 (概要版)



社会福祉法人

池上長寿園

IKEGAMI CHOJUEN

目次

I	社会福祉法人池上長寿園令和8年度基本方針	1
1	社会福祉法人を取り巻く状況	1
2	令和8年度収支見通し	1
3	令和8年度基本方針	1
II	令和6年度～8年度における重点取組事項	2
III	経営本部等事業方針	3
1	経営本部等事業方針	3
2	事業計画・予算編成における推進項目	3
3	経営本部事業計画書（課別）	6
	（1）経営企画課	6
	（2）情報システム課	7
	（3）人財課	8
	（4）総務課	9
	（5）大規模改修担当	10
4	リスク管理・監査室	11
5	経営支援室	12
IV	事業方針	13
1	事業方針	13
2	事業計画・予算編成における推進項目	13
3	事業担当	14
	（1）施設事業担当	14
	（2）在宅事業担当	15
	（3）公益事業担当	16
4	事業部門	17
	（1）羽田・糞谷事業部門	17
	（2）池上事業部門	26
	（3）大森事業部門	33
	（4）蒲田事業部門	38
	（5）たまがわ事業部門	48

I 社会福祉法人池上長寿園令和8年度基本方針

1 社会福祉法人を取り巻く状況

「2025年問題」を通過した現在、介護需要は高止まりを続け、事業機会は依然として大きいものの、事業者の淘汰、再編が加速しています。収益性の根幹である介護報酬は物価や人件費の高騰に追いつかず、人材不足はもはや慢性的、構造的な問題となっています。

私たち池上長寿園は、短期間で変化する社会情勢においても大田区民を中心とした皆様のウェルビーイングに貢献し、社会的価値のある事業を存続させるための良質なサービス提供をしていくと共に、持続可能な事業基盤を構築するための取組みを推進していく必要があります。

2 令和8年度収支見通し

未来への創造プラン4.0の収支の見通しにおいては、令和8年度の事業活動収入を61億7,063万円、事業活動支出を58億8,366万円と見込んでおります。その他に生産性向上に向けた介護記録システム導入費用や特定技能外国人採用等の大きな支出も見込まれます。そして、特養糶谷、特養蒲田の大規模改修工事に伴う再開・休止による減収をはじめとし、近年の物価高騰などリスクに対して留意する状況は続いています。

このような中で、法人の体質強化や職員のエンゲージメント向上のため、人的資本への投資をしていくためには、確実な収入確保とコスト削減・適正化をすすめることは必須となります。

3 令和8年度 基本方針

【 自立経営への構造変革 ～事業は人財なり～ 】

社会は複雑化、多様化しており、これまでの当たり前だったことを当たり前のように続けるだけでは、私たち池上長寿園が100年以上続く法人であることを困難とする時代となっています。

池上長寿園が将来にわたって地域の発展に貢献し、その価値の提供において「共に考え、共に行動し、共に創る」ことのできる法人になることは時代の要請です。そのためにも自らの経営の透明性を図り、自立経営への構造変革が重要です。

変わりゆく社会に対応し、新たな成長を創造するには、これからの時代を見据えたヒトと組織の変革が必要です。つまり、組織としての力の源泉である職員一人ひとりの輝きを最大化する取組みを実践することです。

歴史を紡ぎ、今に挑戦する法人の職員として、「地域の発展に貢献するという変わらない理念のために変わる」行動を起こしていきます。

II 令和6年度～8年度における重点取組事項

- 1 人財の確保・育成・定着
- 2 組織の変革
- 3 サービスの質の確保
- 4 生産性の向上

法人として全社展開する内容は以下の4点とする。

- ・法人研修室（仮称）の設置
- ・事業担当ラインの確立
- ・持ち上げない介護の推進
- ・介護記録システムの全社導入

Ⅲ 経営本部等事業方針

1 経営本部等事業方針

令和8年度は「未来への創造プラン4.0」の最終年度として、法人全体の経営基盤を強化するため、経営管理体制のさらなる充実を図ります。経営本部では、令和7年度に進めた組織改革やICT活用の取組みをさらに発展させ、役割や業務の見直しを通じて、法人全体の業務の効率化とコストの最適化を推進します。また、採用と育成体制の強化を通じて人的資本の最大化を推進し、職員一人ひとりの能力を活かす環境づくりを進めます。これらの取組みを通じて、地域社会に根ざした質の高いサービスを提供するとともに、持続可能な法人運営を実現し、社会福祉の発展に寄与していきます。

2 事業計画・予算編成における推進項目

- ・事業構造の見直し
業務標準化を図り、サービスの質の向上を目指します。
- ・マネジメントの可視化
あるべき姿の組織図を明確にすることでマネジメントにおける迅速な意思決定の仕組みを構築します。
- ・適所適材の実践
提供サービスごとの人員配置構造を構築し経営基盤の安定を図ります。
- ・採用活動の強化
池上長寿園の魅力を発信するツールを活用し採用希望者のニーズに合わせたブランディングをする事で職員採用につなげます。

○法人予算概要

令和8年度法人全体の予算概要については次のとおりです。

(千円)

第1種社会 福祉事業	特別養護老人ホーム（短期入所生活介護含）	4,162,412
	養護老人ホーム	194,833
	軽費老人ホーム	63,663
	合計	4,420,908
第2種社会 福祉事業	通所介護（総合事業含）・認知症対応型通所介護事業	941,623
	ヘルパーステーション	48,507
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	44,043
	本部	35,047
	合計	1,069,220
公益事業	ケアプランセンター	42,392
	地域包括支援センター	499,624
	シニアステーション	109,463
	若年性認知症支援相談窓口	28,309
	その他	720
	合計	680,508
事業活動収入計 ①		6,170,636
支出	(人件費)	3,605,919
	(事業費)	981,361
	(事務費)	1,292,588
	(その他費用)	3,801
事業活動支出計 ②		5,883,669
事業活動資金収支差額 ③ (③=①-②)		286,967

令和8年度事業の目標利用率については次のとおりです。

	定員	目標利用率
特別養護老人ホーム	740	94.4%
短期入所生活介護	57	103.5%
特養+短期計	797	94.9%
一般通所介護	235	70.1%
認知症対応型通所介護	108	79.3%
通所介護計	343	73.1%

特別養護老人ホーム・短期入所生活介護

	施設	羽田	糺谷	池上	大森	蒲田	たまがわ	馬込
特養	定員	100	104	102	87	80	237	30
	目標利用率	96.0%	89.4%	96.0%	96.5%	78.0%	95.7%	95.0%
短期	定員	8	11	8	4	11	10	5
	目標利用率	110.0%	84.7%	75.0%	130.7%	80.0%	139.0%	100.0%
特養+短期計	定員	108	115	110	91	91	247	35
	目標利用率	97.0%	89.1%	94.7%	98.0%	78.3%	97.1%	95.7%

- ※特別養護老人ホーム糺谷は大規模改修工事のため6月から再開予定。
(定員：6月～7月特養31名短期0名、8月特養80名短期0名、9月～特養104名短期11名)
- ※特別養護老人ホーム蒲田は大規模改修工事のため9月から休止予定。
(定員：4月～7月特養80名短期11名、8月特養33名短期11名)
- ※特別養護老人ホーム池上および特別養護老人ホームたまがわは、定員に大田区高齢者緊急ショートステイ事業の空床確保分(池上1床、たまがわ2床)を含みますが、当該床は利用率には算入していません。

一般通所介護・認知症対応型通所介護

	事業所	羽田	糺谷	池上	大森	蒲田	矢口	たまがわ	下丸子
一般	定員	35	35	35		40	25	20	45
	目標利用率	74.5%	70.8%	64.1%		68.0%	85.0%	75.0%	61.8%
認知	定員	12	12	12	24	12	12	12	12
	目標利用率	78.6%	75.0%	60.6%	90.0%	84.9%	85.0%	73.0%	77.0%
通所介護計	定員	47	47	47	24	52	37	32	57
	目標利用率	75.6%	72.1%	63.2%	90.0%	72.6%	85.0%	74.3%	65.0%

- ※糺谷高齢者在宅サービスセンターは大規模改修工事のため、移転先である特養蒲田にて運営しているが、令和8年7月より一般通所の定員を25名に変更して特養糺谷へ戻る予定
- ※蒲田高齢者在宅サービスセンターは大規模改修工事のため令和8年9月から特養糺谷に移転し、一般通所の定員を25名に変更して事業継続予定

3 経営本部事業計画

(1) 経営企画課 事業計画書

① 課の基本方針

令和8年度は「未来への創造プラン4.0」最終年度として、法人の持続可能性を高めるため、経営管理機能の更なる強化に取り組みます。役割や機能の明確化を進め、事業構造を見直し、収益性と効率性を高めます。また、DXによる業務標準化とコストの適正化を推進し、採用計画を着実に進めることで必要な人財を確保し、安定した経営基盤を築きます。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
DXを推進し、効率的で質の高いサービスを提供できる事業運営機能を確立します。	事務システム更新計画の策定

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
役割と機能を整理し、業務の重複や属人化を減らすマネジメント機能を確立します。	事務業務の分掌整理

②-3 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
適切な人員配置を進め、効率的な組織運営を実現する人員配置・組織運営機能を確立します	事務機能に基づく配置定数表の作成

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事務機能を明確化し、必要な体制を強化する採用・配置機能を確立します。	事務機能の体系化

(2) 情報システム課 事業計画書

① 課の基本方針

令和7年度に進めたICT推進の取組みをさらに発展させ、業務効率化の向上、職員満足度の向上、そしてサービスの質の向上を実現するため、ICT技術を積極的に活用します。これにより、持続可能で柔軟性の高い基幹システムを構築し、組織全体のデジタル化を推進します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
基幹システムを構築します。	物理サーバーのクラウド化

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
マニュアル化した業務を安定運用します。	定期レビューとマニュアルの改定

②-3 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
情報システム課のスキルセットを活用させます。	移行計画の実践

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
IT人材との戦略的連携を継続します。	外部IT人材の活用及び知識移転の仕組みづくり

(3) 人財課 事業計画書

① 課の基本方針

組織改定に紐づかれる、新組織に対応した規則、規程、基準を整備するとともに、タレントマネジメントシステム構築をめざします。(人と組織の変革との連動)

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業ラインを軸とした組織改定に伴う人事給与制度を検討します。	人事給与制度改定案

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
人事給与制度改定に伴う、労務管理の仕組みを整備します。	勤次郎のクラウド化

②-3 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
人財育成委員会にて、人財育成の制度を構築します。	人財育成の見える化

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ターゲットを明確に設定し、効果の高い採用チャネルを活用し計画に基づく採用活動を実践します。	母集団の形成

(4) 総務課

事業計画書

① 課の基本方針

法人として安定した事務機能を確立・構築するため、これまで属人的になりがちであった事務業務の体制を見直し、持続可能な運営基盤の整備を進めます。

その一環として、外部の専門的知見を取り入れながら、生産性向上につながるシステム導入や業務プロセスの改善を推進します。

また、職員が働きやすさを実感できる仕組みづくりを着実に進め、組織としての事務機能強化を図っていきます。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事務効率化と生産性向上のため、さらなる業務標準化と業務効率化をし、業務のシステム化につなげます。	業務手順書を作成

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務効率・スキル習得・情報共有の3軸で定量的な指標を設定し、業務内容のレベルアップを目指します。	事務業務スキルの可視化

②-3 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
各担当業務の業務を細分化・見える化し、業務の適正分配を実施します。	業務の棚卸

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員満足度向上を図るため、職員福利厚生や職員表彰制度を見直し、法人の魅力発信を強化します。	職員表彰制度改正・福利厚生事業等の見直し

(5) 大規模改修担当 事業計画書

① 課の基本方針

法人が管理する施設建物についての計画的保全と大田区が計画、実施する区立施設の大規模改修工事が滞りなく進捗するように大田区と連携します。各施設の業務委託契約等について施設の経営状況等にあわせ見直しを検討します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務委託の一部について見直しを検討します。	警備業務の一部見直し

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
大規模改修工事に伴う大田区との連携と今後の計画の対応方針を見える化します。	大規模改修スケジュール概要の作成

②-3 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
配置職員の専門性、職員の働き方を考慮し、効率的に業務を実践します。	業務分担進捗管理表の作成

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
大規模改修担当課の事業継続に向け体制を強化します。	職員採用活動実施

4 リスク管理・監査室

リスク管理・監査室 事業計画書

① 室の基本方針

社会福祉法人経営としての内部統制と重要リスクマネジメントを整理検討します。また、ご利用者の安全とサービス向上を実現するため、法人の各部門と連携・協働し組織横断的に交通安全・介護事故・危機管理・BCP・ハラスメントに法人共通の取り組みを推進します。併せて監査機能を活用し法令遵守・経営管理体制の強化を図ります。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安全運転管理体制の実践とICT化の検討をします。	安全運転管理体制の実践

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
監査機能によりコンプライアンスと適正な事業管理の強化に取り組みます。	計画に基づく監査の実施と改善支援

②-3 適所適材の実践

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務分掌規程に基づく事業コンプライアンスの維持を図ります。	内部自己点検と事業活動への情報提供支援

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
経営理念に基づく事業運営についての取組みを可視化し地域に発信します。	第三者評価によるPDCAサイクル実践の支援

5 経営支援室

経営支援室

事業計画書

① 室の基本方針

持続可能な法人経営に向けて、主に法人事務担当者連絡会との連携により予算執行管理の分析手法やツールの開発・更新等に組織的連携に取り組みます。あわせて、支援室の活動を通じ次世代を担う経営人財を育成します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
予算執行管理による、適切な収入見込みと収支管理ができるようになります。	支援室訪問による事業部門の収支分析と事務員連絡会共有

②-2 マネジメントの可視化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業の収入構造理解し多職種間における連携が強化されることでより良いサービス提供と収支バランスを図ることができるようになります。	事業部門における多職種連携と収支改善への実践

②-3 適所適材の実践

研究レポの経営会議で報告・予算編成への関わり準備

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法人が運営する全事業の理解を深め、次世代の経営人財を育成します。	室員は帰属する事業部門の予算編成に携わる

②-4 採用活動の強化

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

IV 事業方針

1 事業方針

介護・福祉の品質を向上することは、持続可能な社会福祉法人を形成するうえで必須です。全事業において専門性の高いケアを取り入れ、質の高いサービスを提供します。職員一人ひとりがご利用者の尊厳の保持と自立支援の考えを持ち、ケースワーク力を向上し、ご利用者のニーズを的確にとらえて介護・支援します。さらに、池上長寿園の機能と専門性を活かし、地域の福祉ニーズを把握し、地域共生社会の実現に貢献します。また、職員がやりがいを感じ、安心して働ける職場環境を整え、満足度向上にも取り組みます。社会福祉法人は、目の前の福祉課題に取り組む姿勢を忘れてはいけません。日々の取り組みにより池上長寿園の事業価値「その人が幸せでいきいきと満たされる状態であることに貢献する」を目指します。

2 事業計画・予算編成における推進項目

- ・顧客満足度の向上
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。
- ・事業構造の見直し
業務標準化を図り、サービスの質の向上を目指します。
- ・コンプライアンスの確保
計画を確実に実行し、評価・改善できる組織体制を整備します。
- ・収益力の向上
提供サービスごとの収入向上の取り組みを実践します。

3 事業担当

(1) 施設事業担当

事業計画書

① 事業担当の基本方針

介護・福祉の専門性を高め、質の高いサービスを提供することで、持続可能な社会福祉法人を目指します。ご利用者の尊厳と自立支援を重視し、職員のケースワーク力を向上させます。池上長寿園の機能を活かして地域福祉ニーズに応え、共生社会の実現に貢献します。職員が安心して働ける環境づくりにも取り組み、事業価値である「その人が幸せでいきいきと満たされる状態であることに貢献する」を追求します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
時代の変化に対応し、区民ニーズに応える施設を目指します。	短期入所介護の利用促進

②-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安定的な施設運営を目指し収支内容を見直していきます。	業務委託内容の見直しと改善

②-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令理解を深め実践していきます。	法令遵守状況の進捗管理

②-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
人財育成を深化させ、法人価値の向上を目指します。	目標達成に向けた組織的な改善取り組み

(2) 在宅事業担当

事業計画書

① 事業担当の基本方針

介護・福祉の専門性を高め、質の高いサービスを提供することで、持続可能な社会福祉法人を目指します。ご利用者の尊厳と自立支援を重視し、職員のケースワーク力を向上させます。池上長寿園の機能を活かして地域福祉ニーズに応え、共生社会の実現に貢献します。職員が安心して働ける環境づくりにも取り組み、事業価値である「その人が幸せでいきいきと満たされる状態であることに貢献する」を追求します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
時代ニーズに応える事業の確立を目指します。	法人全体での認知症ケアの体系化

②-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
将来を見据えた在宅事業の再構築を目指します。	認知症対応型デイサービスの拡大

②-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令理解を深め実践していきます。	法令遵守状況の進捗確認

②-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
収支構造を見直し安定的な事業運営を目指します。	収支内容の見直し

(3) 公益事業担当

事業計画書

① 事業担当の基本方針

介護・福祉の専門性を高め、質の高いサービスを提供することで、持続可能な社会福祉法人を目指します。ご利用者の尊厳と自立支援を重視し、職員のケースワーク力を向上させます。池上長寿園の機能を活かして地域福祉ニーズに応え、共生社会の実現に貢献します。職員が安心して働ける環境づくりにも取り組み、事業価値である「その人が幸せでいきいきと満たされる状態であることに貢献する」を追求します。

② 推進項目に対する達成目標

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
おおた福祉ネットワーク（法人協）や公益事業を介した地域貢献を拡充します。	地域のネットワークと新たなプラットフォーム形成

②-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業担当の業務、マネジメントを明確にし精度の高い意思決定の仕組みを構築します。	事業運営を軸とした組織体制の基礎構築

②-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
計画の適正な進捗管理が可能となる安定的な組織基盤構築のための態勢を整備します。	適正な事業運営を図れる管理者の配置、組織体制の構築

②-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
受託事業の構造理解、根拠ある予算要求の過程を協議・決定する自律した仕組みを構築します。	事業構造に見合う受託費を確保

4 事業部門

(1) 羽田糶谷事業部門

①羽田・糶谷事業部門方針

羽田・糶谷事業部門は、関わるすべての人の尊厳を大切にし、その想いを支え、未来へつなげます。サービス提供においては、ご利用者一人ひとりの価値観や気持ちを尊重し、丁寧なアセスメントに基づく個別計画を作成・進捗します。更には、エビデンスに基づくケアを推進し、介護報酬加算の理解を深め、積極的に加算取得に取り組みます。そして、高品質なサービスを根拠とした、収益力と事業の持続性を確保します。職員育成では、個々の目標と個性を尊重し、可能性を伸ばす仕組みを整えます。加えて、働き方改革と業務標準化によって効率性と働きやすさを高め、意欲をもって働ける職場環境を築きます。こうした安定運営を基盤に包括支援センターを地域連携のハブとして、大田区や地域、関係機関との協働を深め、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

2. 予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目	羽田拠点	糶谷拠点
事業活動収入計④	647,766	952,684
事業活動支出計⑤	614,992	758,499
(人件費)	432,265	309,794
(事業費)	91,483	257,320
(事務費)	113,653	190,052
(その他費用)	179	1,333
事業活動収支差額 ⑥=④-⑤	32,774	194,185

(1)-1 特別養護老人ホーム羽田

事業計画書

(介護老人福祉施設：定員 100名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 8名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年間利用率	96.0	110.0	97.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計	478,037	39,763	517,800	(千円)
事業活動支出計	458,574	34,564	493,138	(千円)
事業活動収支差額	19,463	5,199	24,662	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
エビデンスに基づくサービス（科学的介護）を実践し、質の高いケアの提供に向けて取り組みます。	ケアの質向上（介護マニュアル遵守率90%以上）

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務量の明確化（可視化）と効率化を図り改善、進化させるため生産性向上の取り組みを行います。	生産性向上推進体制加算の取得

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
施設サービスの提供に関してPDCAサイクルを回しながら実践し、法令や運営規程を遵守した施設経営を行います。	コンプライアンスの遵守（法定研修実施率100% 参加率100% 四半期ごとの自己点検実施）

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
特養待機者のスピーディーな新規入所調整の実践と入院率減少に向けたケアの向上に取り組みます。	目標稼働率の達成

(1)-2 羽田高齢者在宅サービスセンター

事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 35名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計
年間利用率	74.5	78.6	75.6 (%)

②予算概要

事業活動収入計	88,194	41,772	129,966 (千円)
事業活動支出計	92,743	29,111	121,854 (千円)
事業活動収支差額	△4,549	12,661	8,112 (千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
「尊厳ケア10の約束」に基づき、権利擁護を重視した事業所運営を実現します。 安全運転チェックの徹底を強化します。	個別ケアを重視したアセスメント記録の充実 交通事故ゼロ

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
稼働率の向上とコスト削減を図り、法人通所事業全体の標準化を見据えて、生産性向上を達成することで、持続可能な事業構造を確立します。	業務棚卸しによる業務見える化

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令遵守と内部統制を徹底し、研修の実施と内部監査などを通じて信頼性の高い事業運営を実現します。	研修を計画的に実施、法令違反ゼロ推進。(法定研修参加率100% 四半期毎の見直し)

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
目標利用率と目標収支差額を確実に達成し、収益率の向上を目指します。さらに、予算執行管理表の分析・共有を毎月実施し、収益改善に向けた迅速な意思決定を行います。	目標利用率の達成。業務見直しによる事業コスト削減と収益率を向上。

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
日頃の活動や地域ケア会議等を通じて、地域のニーズや課題を把握し、関係機関との連携を強化します。	地域ケア会議（年4回以上）、 重層的支援会議（年2回以上） 地域力推進委員会（年3回以上）

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多職種連携の強化、人財育成や研修を通じて職員一人ひとりの専門性を高める事で、質の高い支援が提供できるよう取り組みます。	地域ケア会議、重層的支援会議、 研修参加や事例検討等による 職員の資質向上及び実践力の 向上

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の個人情報の適切な管理、適切なサービス提供、地域特性や実情を踏まえた地域包括ケアシステムの構築に取り組んでいきます。	地域包括支援センター事業評価、 地域包括支援センター事業 評価に伴う第三者アンケート

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域のニーズに合わせてプログラムを企画し参加者が「ここに来て良かった」と感じられるような、きめ細やかな配慮と工夫を行っていきます。	シニアステーション利用者アンケート、地域包括支援センター事業評価(シニア含む)

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
効率的な運営とリソース活用を行う事で、サービスの質を高める活動を行っていきます。	シニアステーション利用者アンケート、大田区高齢者通いの場施設長情報交換会

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
PDCAサイクルを運用する事で、より多くの高齢者が参加したくなるような魅力的なシニアステーションを持続的に運営していきます。	シニアステーション利用者アンケート、地域包括支援センター事業評価(シニア含む)

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

(介護老人福祉施設：定員 104名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 11名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年間利用率	89.4	84.7	89.1	(%)

※大田区による大規模改修工事により特養専門床は令和8年6月から再開。
短期は令和8年7月から再開予定。

②予算概要

事業活動収入計	786,658	44,191	830,849	(千円)
事業活動支出計	613,530	32,982	646,512	(千円)
事業活動収支差額	173,128	11,209	184,337	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
大規模改修工事に伴い他施設へ住み替えていただいたご利用者の安全・無事故の受け入れを行います。	住み替え先の施設との各職種間連携による個別ケアの把握と継続

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業再開によるフロア業務の標準化を図り、より良いサービスを提供します。	従前のフロア業務マニュアルの検証・見直しと新・業務スケジュールの策定

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の尊厳と安全を守り、職員への適切な労働環境を整備します。	介護保険法、個人情報保護法、労働法規等の法令遵守

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
介護報酬加算における収入（加算単価）の把握と新規加算取得、利用率向上に取り組みます。	加算情報と取得要件の共有及び利用率表の活用

(1)-6 大田区立糺谷高齢者在宅サービスセンター 事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 35名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計
年間利用率	70.8	75.0	72.1 (%)

②予算概要

事業活動収入計	76,987	44,848	121,835 (千円)
事業活動支出計	90,501	21,486	111,987 (千円)
事業活動収支差額	△13,514	23,362	9,848 (千円)

※大田区による大規模改修工事のため、移転先である特養蒲田にて運営しているが、令和8年7月より一般通所の定員を25名に変更して特養糺谷へ戻る予定。

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
大規模改修に伴う事業所移転後も安心・安全なサービスを提供し、権利擁護を重視した事業所運営を実現するとともに、安全運転チェック体制の強化を図ります。	介護記録の充実、ケアプランへの反映。第三者評価利用者満足度の向上 交通事故ゼロ

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な特色をもつ職員の一人ひとりが役割を認識し、他職員との共通認識をもって自己実現が出来る職場づくりを目指します。	ES調査、職場、法人への満足度向上/第三者評価経営層と職員の評価乖離減少

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
「尊厳ケア10の約束」を推進し、ご利用者の権利擁護を実践します。	介護保険法、個人情報保護法、労働法規等の法令遵守 (法定研修実施100% 参加率100%)

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
大規模改修に伴う環境下から、機能訓練の再開など新たな加算の取得を目指します	加算情報と取得要件の共有 職員体制変革の共有と業務内容の見直し

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域にお住まいの方や、介護・福祉・医療従事者が安心して相談できる身近な地域包括支援センターを目指します。	総合相談支援・介護予防ケアマネジメント・権利擁護・包括的継続的ケアマネジメントへの取組み

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域づくりや地域貢献への取組みに関して、事業の継続性も見据え、さまざまな関係機関と協力、連携します。	町会自治会、出張所や地域福祉課、社会福祉協議会、企業や介護事業者、基本圏域3包括等との連携

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
窓口対応や相談業務、訪問業務など地域包括支援センターでの業務におけるコンプライアンスの確保のため各種取組みを行います。	ビジネスマナー/対応内容のレビュー/トラブル事例の共有/メンタルヘルスケア/個人情報保護への配慮/適切な記録等

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の方が安心して相談できる地域包括支援センターを目指します。	介護予防支援/認知症予防/権利擁護支援/見守りネットワークの構築

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域に貢献できるよう関係機関と連携し、提供するサービスの充実を図ります。	特別出張所や医療機関との連携/老人いこいの家との連携/図書館との連携/基本圏域3包括の連携

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
個人情報や守秘義務に関する意識の浸透を図り、安心安全な質の高いサービスを提供します。	個人情報の管理/ビジネスマナー力の向上/生活支援記録(F-SOAI※)の取組み

※対人支援専門職の実践過程を可視化する記録手法

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

(2) 池上事業部門

①池上事業部門方針

池上事業部門は、池上長寿園中期経営計画「未来への創造プラン4.0」の期間において「諸課題に対し、真摯に向き合い考動できる職員の育成」に取り組んでまいりました。令和8年度は最終年度となりますが、ご利用者の想いを大切に受け止め、チームアプローチを実践するために、法人の【求める人財像】を目指し、前進する職員の育成に努めます。

また、ナレッジ活用を促進するため、業務標準化を進め、DXを通じた業務プロセスの可視化・効率化に取り組みます。そして、職員にとっても働きやすい環境を整備します。

そして、多様な事業を展開する池上事業部門の機能とチームワークを活かして、地域の課題解決や支援体制づくりにも貢献していきます。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目	池上拠点	養護拠点	馬込拠点
事業活動収入計④	647,952	194,833	211,203
事業活動支出計⑤	680,285	185,211	226,267
(人件費)	457,797	89,192	141,757
(事業費)	97,325	47,428	34,718
(事務費)	124,590	48,591	49,317
(その他費用)	573	0	475
事業活動収支差額 ⑥=④-⑤	△ 32,333	9,622	△ 15,064

①予算概要

事業活動収入計	194,833	(千円)
事業活動支出計	185,211	(千円)
事業活動収支差額	9,622	(千円)

②推進項目に対する達成目標とKPI

②-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
フレイル予防やクラブ活動を通じてご利用者同士や地域の多世代との交流を促進し、ご利用者が心身ともに健康で、充実感を持って生活できる状態を目指します。	フレイル予防活動の効果分析

②-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
より多様な生活課題を抱えた高齢者を受け入れられるように、ケースワーク力向上の取組を継続し、アセスメント力の向上とチームアプローチを実践します。	「私の姿シート」の記入率向上とアセスメントへの活用

②-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
個人情報の適正な管理や法令・規程の遵守を徹底します。	個人情報保護・倫理研修の受講と所内フィードバックの実施

②-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の関係機関や地域団体に対して、養護老人ホームの意義や価値を広く周知し、地域との連携強化と施設の理解・信頼の向上を図ります。	事例集の作成

(2)-2 特別養護老人ホーム池上

事業計画書

(介護老人福祉施設：定員 102名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 8名)

①経営目標 ※大田区緊急ショートステイ事業（空床確保分）1床は除く

	特養	短期	合計
年間利用率	96.0	75.0	94.7 (%)

②予算概要

事業活動収入計	466,545	24,076	490,621 (千円)
事業活動支出計	494,746	35,135	529,881 (千円)
事業活動収支差額	△ 28,201	△ 11,059	△ 39,260 (千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
チーム内における情報共有・活用の仕組みづくりと定着を図りアセスメント力を強化します。	運用マニュアルの整備と活用

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
人員配置図・介護技術ハンドブック・チェックリストを活用しタレントマネジメントを実践します。	適切で柔軟な人員配置 キャリアアップの機会獲得

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
適正な労務管理により職員のモチベーションを高めます。	年次有給休暇の取得率向上

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
各専門職種が役割を全うし、収益とサービス向上につながる取り組みを実践します。 ショートステイのあり方を検討し、収入率向上を図ります。	年間利用率94.7%

(2)-3 特別養護老人ホーム馬込

事業計画書

(介護老人福祉施設：定員 30名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 5名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年間利用率	95.0	100.0	95.7	(%)

②予算概要

事業活動収入計	185,749	25,454	211,203	(千円)
事業活動支出計	195,352	30,915	226,267	(千円)
事業活動収支差額	△ 9,603	△ 5,461	△ 15,064	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ユニットケア推進と下剤ゼロを実現し、ご利用者の尊厳保持とQOL向上を図ります。	24時間シートに基づく個別ケア計画の作成と更新 職員の排泄ケア研修受講

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
外部委託業務の内製化検討によるコスト削減と柔軟な体制を構築し、サービス品質と業務効率を高めます。	ご利用者・ご家族アンケートで「サービス品質維持」評価80%以上

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令遵守と倫理の徹底を基盤とし、医療・介護サービスの適正な提供を確保します。職員のコンプライアンス意識を高めることで、事故防止に努めます。	コンプライアンス研修の計画的実施と職員の意識調査

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
優先入所の進捗管理を徹底し、利用率を安定確保して収益基盤を強化します。	年間利用率95.7%以上 入居までの平均日数20日以内

(2)-4 池上高齢者在宅サービスセンター

事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 35名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計	
年間利用率	64.1	60.6	63.2	(%)

②予算概要

事業活動収入計	77,617	35,691	113,308	(千円)
事業活動支出計	80,552	28,021	108,573	(千円)
事業活動収支差額	△ 2,935	7,670	4,735	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
的確なアセスメントとその活用により、その人らしい生活の継続を支援をします。 事故を未然に防止できる環境を整備し、安全な送迎を継続的に行える体制を構築します。	適切なアセスメントの実施と 振り返り 交通事故の減少

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
認知症対応型通所介護への移行に向けて、職員一人ひとりが認知症の理解を深め、ご利用者の尊厳保持を大切にされた個別支援の実践を目指します。	認知症ケアに関する研修への 参加と振り返り

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
関係法令の遵守を徹底し、安心・安全で質の高いサービス提供を実現します。	記録・帳票管理の徹底

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
加算算定を可能にする体制整備を進め、付加価値の高いサービス提供と収益力の向上を推進します。	利用率の向上

(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)

①経営目標

	定期巡回
月次登録者数	15 (人)

②予算概要

事業活動収入計	44,023 (千円)
事業活動支出計	41,831 (千円)
事業活動収支差額	2,192 (千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者ご家族のニーズを把握し、安心・安全・満足を感じられるサービスを提供します。	柔軟なサービス調整

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員の対応の統一を図り、安全にサービスが提供できる仕組みをつくりまします。	情報共有システム(スマケア)の活用

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の尊厳・権利を守り、適正なサービス提供を継続できる事業所を目指します。	内部点検の実施

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業運営の見直しを行い、健全な収益モデルを検討していきます。	移動ルート、利用者構成の最適化

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
新しい認知症観の理解と普及を進め、認知症の当事者・家族の対象者を広げて支援を行うとともに、総合相談においてアセスメントによりご利用者を深く理解し、適切で継続的な支援を行います。	認知症関連の事業・イベントの実施、高齢者の生活支援に関わる人や機関との連携

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の実情に合わせて介護予防や見守りの支援を行い、助け合いの一步となるきっかけづくりをし、高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくりを支援します。	自治会、シニアクラブ、民生委員等、地域団体との連携、高齢者が参加できる場所の確保

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域包括支援センターの業務である個別相談と地域づくりの両方を実践できるよう、研修や事例検討会、日常業務内の会議やイベント参加等により職員の育成に努めます。	研修参加、事例検討会の実施、地域で行う事業への職員参加

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

(3) 大森事業部門

①大森事業部門方針

社会を取り巻く福祉課題は多様化、複雑化しています。大森事業部門はサービスの向上、地域福祉や介護を担う人財の育成、地域連携など多様なアプローチで大森の福祉ニーズに応えます。

私たちの強みは「ご利用者の健康」と「専門性、個別性のあるサービス」です。入院することなく元気に生活でき、認知症専門ケア、フレイル予防、高齢者地域生活再建事業など特徴のあるサービスを事業間で連携しながら推進します。

地域から必要とされる大森事業部門であり続けることを事業部門の基本とします。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目	大森拠点
事業活動収入計④	521,881
事業活動支出計⑤	494,692
(人件費)	308,128
(事業費)	78,745
(事務費)	107,469
(その他費用)	350
事業活動収支差額 ⑥=④-⑤	27,189

(3)-1 特別養護老人ホーム大森

事業計画書

(介護老人福祉施設：定員 87名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 4名)

①経営目標

	特養	短期	合計	
年間利用率	96.5	130.7	98.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計	397,158	23,488	420,646	(千円)
事業活動支出計	390,549	19,676	410,225	(千円)
事業活動収支差額	6,609	3,812	10,421	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
「健康に過ごすことができる」という価値と、「個別ケアの取組みによるその人らしい生活」の実現を両輪としたサービスの提供を行います。	入院率3%未満 ニーズに基づく個別ケアの提供

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
介護記録システムの活用により生産性の向上を図ると共に、記録の充実により「根拠のあるケア」の確立に努めます。	介護記録システムの活用 記録の充実

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
介護保険法、関連法令の理解を深め、組織として、事業計画を適切に実施できる体制を整備します。	業務計画書による事業計画の進捗管理

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
より多くの方に利用していただくことによる目標利用率の達成と、収入に応じた支出の調整を行い、継続性のある、安定した施設運営に努めます。	特養、短期合計利用率98.0%達成 予算執行管理表による支出管理

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 24名)

①経営目標

	認知
年間利用率	90.0 (%)

②予算概要

事業活動収入計	101,235 (千円)
事業活動支出計	84,468 (千円)
事業活動収支差額	16,767 (千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
認知症ケア研修や高齢者虐待防止・権利擁護研修に全職員が参加することで、認知症ケアの質の標準化を図り、専門性を高め、意思決定支援を実現します。	研修受講率100%と選択の機会の増加(個別レクを増やす)

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
介護記録システムを活用し業務標準化を図り、サービスの質の向上を目指します。	介護記録システム活用記録業務の標準化

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
送迎範囲における危険個所やヒヤリハット、法人内での事故の再発防止策等を共有し、ケアパートナーとの定期面談を通して、交通事故防止に努めます。	職員会議での情報共有 交通事故ゼロ

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
高い利用率を維持しながら、職員が働きやすい職場を整えることで収入の向上を図ります。	収支差額の拡大

① 推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域の皆様に信頼される総合相談窓口として機能強化を図ります。	ケースワーク力、コミュニティワーク力の向上 見守りネットワークの構築

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務標準化を図り、サービスの質の向上を目指します。	大田区統一の記録方法の導入と習得

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
公正中立な運営と利用者本位の適切な支援に取り組みます。	権利擁護、虐待対応、意思決定支援、個人情報保護への取組み

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安定した生活の継続のためニーズの把握とサービス内容の向上を目指します。	提供サービスごとの顧客満足度向上

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務標準化を図り、サービスの充実と質の向上を目指します。	業務内容の洗い出し 業務担当者の明確化と手順のマニュアル化

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業運営とご利用者支援に対しての理解を深め、計画を確実に実行できる組織体制を整備します。	法令・諸規程の遵守 ソーシャルワーク力向上の取り組み

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
新規ご利用者の受け入れに備え、退所支援後の居室内整備を迅速に行う取組みを実践します。 地域の方の在宅生活の維持に向けた地域高齢者再建事業の調整及び迅速な受け入れ態勢を図ります。	介護保険課との情報共有、連携の強化

(4) 蒲田事業部門

①蒲田事業部門方針

社会を取り巻く福祉課題は多様化、複雑化しています。蒲田事業部門はサービスの向上、地域福祉や介護を担う人財の育成、地域連携など多様なアプローチで蒲田の福祉ニーズに応えます。

私たちの強みは「事業の幅広さ」と「連携力」です。各事業が相互に連携して、地域包括ケアシステムの一翼を担うための取組みを進めます。

令和8年度は特別養護老人ホーム蒲田の大規模改修に伴う事業休止と蒲田在宅、包括蒲田の移転が開始されます。ご利用者を安全に住み替えいただき、休止中も地域とのつながりを大切にします。休止にあたって地域への感謝の集い「蒲田縁結会(えんゆうかい)」を開催するとともに、引き続き地域行事やイベントなどに参加させていただきます。

②予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目	蒲田拠点	矢口拠点	南蒲田拠点
事業活動収入計①	635,736	117,220	90,899
事業活動支出計②	393,426	106,055	78,285
(人件費)	193,647	77,551	71,047
(事業費)	56,801	14,661	0
(事務費)	142,388	13,843	7,238
(その他費用)	590	0	0
事業活動収支差額 ③=①-②	242,310	11,165	12,614

4-(1) 大田区立特別養護老人ホーム蒲田

事業計画書

(介護老人福祉施設：定員 80名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 11名)

①経営目標

	特養	短期	合計
年間利用率	78.0	80.0	78.3

(%)

※大田区による大規模改修工事のため、令和8年9月から事業休止予定。

②予算概要

事業活動収入計	457,496	48,214	505,710	(千円)
事業活動支出計	234,253	28,831	263,084	(千円)
事業活動収支差額	223,243	19,383	242,626	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の想いを大切に多職種で連携し、根拠に基づくサービスを提供します。 安心安全に配慮し、他施設への住み替えを行います。	ご利用者の権利擁護・虐待防止の推進 他施設との情報共有

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の定員変更に合わせて日課を見直します。	日課の見直し 適正な人員配置 給食委託会社との連携

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
指針に基づき計画を確実に実施します。 リスクマネジメントについて組織体制を整備します。	個人情報保護 事故防止・再発防止の徹底 自然災害・感染症BCP実施

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
計画性をもって予算執行します。	予算執行管理表

(4)-2 大田区立蒲田高齢者在宅サービスセンター 事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 40名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計	
年間利用率	68.0	84.9	72.6	(%)

②予算概要

事業活動収入計	78,907	51,119	130,026	(千円)
事業活動支出計	94,141	36,201	130,342	(千円)
事業活動収支差額	△15,234	14,918	△316	(千円)

※大田区による大規模改修工事のため令和8年9月から特養糶谷に移転し、一般通所の定員を25名に変更して事業継続予定。

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
大規模改修に伴う事業所移転も視野に、提供サービスごとのニーズ把握とサービス内容の充実を図ります。	移転後は事業規模やサービス内容が変わるため、満足していただくサービス内容の提供

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な働き方や自己実現ができる職場作りを実現します。	職員の定着

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令、諸規程等を遵守するとともに、評価・改善できる組織体制を整備します。法人内での事故の再発防止策等を共有し、ケアパートナーとの定期面談をとおして、交通事故防止に努めます。	内部点検や業務計画書による進捗管理

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
サービス提供上の優先順位を明確化し、人員・時間・経費の適正化を図ります。	予算執行管理表・月報による進捗管理

(4)-3 大田区立矢口高齢者在宅サービスセンター 事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 25名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計	
年間利用率	85.0	85.0	85.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計	67,870	49,350	117,220	(千円)
事業活動支出計	71,136	34,919	106,055	(千円)
事業活動収支差額	△3,266	14,431	11,165	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。	個別プログラムの充実 選択レクの実施

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務標準化を図り、サービスの質の向上を目指します。	介護技術、認知症ケア向上の取組み

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令、諸規程等を遵守するとともに、評価・改善できる組織体制を整備します。法人内での事故の再発防止策等を共有し、ケアパートナーとの定期面談をとおして、交通事故防止に努めます。	内部点検や業務計画書による進捗管理

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとの目標利用率と収入達成の向上の取組みを実践します。	経営指標、業務計画書による進捗管理

(4)-4 ヘルパーステーション池上長寿園 南蒲田 事業計画書

(訪問事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所)

①経営目標

	訪問介護	
月 間 訪 問 件 数	990	(件)

②予算概要

事業活動収入計	48,507	(千円)
事業活動支出計	45,670	(千円)
事業活動収支差額	2,837	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
情報共有と意見交換により安定したサービス提供と個別支援を提供します。	所内会議、登録ヘルパー定例会の実施、活用

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務の役割、事務業務の進めかたを見直します。	職員の定着維持

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員の実働時間、人員配置を見直します。	特定事業所の維持

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
安定的な顧客確保により、月間売上目標を達成します。収支均衡を維持継続します。	関係機関との連携、信頼関係の維持継続 予算執行管理表による執行管理

(居宅介護支援事業所)

①経営目標

	居宅介護支援	
月間ケアプラン請求件数	190	(件)

②予算概要

事業活動収入計	42,392	(千円)
事業活動支出計	32,615	(千円)
事業活動収支差額	9,777	(千円)

③推進項目に対する目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
系統立てた所内研修の実施と、定期的なケース検討によりケースワーク力の向上を図り、顧客満足度の維持向上を図ります。	月190件の請求が維持できる安定した新規ケースの受託 困難ケースの受託

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ケース検討において主任介護支援専門員が専門性を発揮し、職員の気づきを引き出し資質向上を図れる体制を構築します。又、外部研修へ積極的に参加し個々人の専門性と事業所全体の資質向上を図ります。	外部研修の受講 地域の介護支援専門員連絡会での研修の企画運営 介護支援専門員等資格の更新

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域に根差した居宅介護支援事業所の職員としての自覚を持ち、介護保険法、運営規定などの理解を深め、法令順守に努めます。	運営規定に定められる研修の実施と権利擁護委員会、BCP委員会、感染症対策委員会の定期的な開催

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
状況に応じた加算の確実な取得と特定事業所加算Ⅱの維持を図ります。また、令和9年度の医療連携加算要件の充足を目指します	入院時情報連携加算、退院退所加算、ターミナルケアマネジメント加算取得・特定事業所加算Ⅱの継続算定

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
自分らしく暮らし、互いに支えあい、地域の中で主体性を持って活動できるまちづくりを行います。	相談を一つの世帯でとらえる地域課題を地域とともに解決する

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
記録方法の統一化と簡素化を行います。課題整理と支援方向性は所内検討でチーム支援を行います。	チーム支援 記録の効率化 情報の共有化

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
個人情報の取り扱いを持ち出し簿など活用して、非常時や災害時に備え、BCPを作成します。	避難訓練等の定期的な確認の実施

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事業所移転とシニアステーション開設も視野により一層、地域住民との協働、地域の様々な課題解決に取り組めます。	事例検討、地域ケア会議の開催 地域のネットワーク構築 シニアステーション開設準備

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
デジタル技術を積極的に活かして利用者満足度の向上に取り組めます。	記録方法の統一化 オンラインミーティングツール を活用したフレイル予防の浸透

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
各種研修の受講により業務に必要な知識を習得することのできるよう取り組めます。	外部研修の受講 所内研修の実施

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事例検討や勉強会を通じてケースワーク力の向上、対応力の標準化を図ります。また地域の活動団体と連携を強化します。	事例検討、勉強会の開催 地域ネットワークの形成

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
シニアステーションと協働しフレイル予防を推進します。	カムカム体操年間1万人参加

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
研修の積極的な参加により、制度の理解や資質の向上を図ります。成果を所内にフィードバックし適切な業務の遂行と効率化を推進します。	東京都、大田区の研修参加

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者が満足するようなプログラムを提供し、元気維持や社会参加等にかかる事業を促進します。	ニーズ把握のアンケート実施 プログラムへの反映

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
多様な主体による介護予防の充実を図る。カムカム体操を拡充し多くの方に介護予防運動の機会を提供します。	カムカム体操年間1万人参加

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
計画を確実に実行し、評価・改善できる組織体制を整備します。	毎月の計画の実行状況確認

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

(5) たまがわ事業部門

① たまがわ事業部門方針

たまがわ事業部門は、事業部門全体が1つのチームとしての認識を持ち、各職員がそれぞれの専門性を活かし連携を図りながら、地域における様々なニーズに応えます。そしてご利用者・ご家族、地域、職員、施設、事業所の満足度の向上とともに、持続可能な事業運営及び経営基盤の構築を目指します。

また、急速に進む周辺環境の変化及び高齢者福祉の多様化する課題に対し、地域包括ケアシステムの一員として、地域に根差した福祉サービスの提供を強化します。

そして、最終年度となる法人の中期経営計画「未来への創造プラン4.0」に掲げた新たな組織編制にも適切に対応し、人材育成については事業部門としては新たなチャレンジとなる外国人採用にも積極的に取り組み、地域に信頼され質の高い安定したサービスを提供します。

② 予算概要※直営施設、利用料金制の指定管理施設のみ掲載

(千円)

勘定科目	たまがわ拠点	下丸子拠点
事業活動収入計①	1,277,218	136,398
事業活動支出計②	1,216,629	115,058
(人件費)	787,659	85,688
(事業費)	254,033	18,276
(事務費)	174,640	11,094
(その他費用)	297	0
事業活動収支差額 ③=①-②	60,589	21,340

(5)-1 大田区立特別養護老人ホームたまがわ

事業計画書

(介護老人福祉施設：定員 237名)

(短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護：定員 10名)

①経営目標 ※大田区緊急ショートステイ事業（空床確保分）2床は除く

	特養	短期	合計	
年間利用率	95.7	139.0	97.1	(%)

②予算概要

事業活動収入計	1,127,133	58,450	1,185,583	(千円)
事業活動支出計	1,078,872	45,831	1,124,703	(千円)
事業活動収支差額	48,261	12,619	60,880	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
利用者サービスにおける課題・ニーズを把握し、サービス内容の充実を図ります。	アクションプランの達成

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務標準化を図り、サービスの質の向上を図ります。	業務改善の進捗管理 効果測定を定期的に評価

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
計画を確実に実行し、評価・改善できる組織体制を整備します。	事業計画達成における役割と責任を可視化

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
収入向上の取組みを実践します。	ケアで予防できる疾患の削減率 特養、ショートベッドの連携した稼働状況の評価 経費削減状況評価

(5)-2 大田区立たまがわ高齢者在宅サービスセンター 事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 20名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計	
年間利用率	75.0	73.0	74.3	(%)

②予算概要

事業活動収入計	51,256	40,379	91,635	(千円)
事業活動支出計	60,102	31,824	91,926	(千円)
事業活動収支差額	△8,846	8,555	△291	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者アンケートで満足・大変満足90%以上を目指し、年間稼働率目標を達成するとともに、送迎時の安全確保とサービス別ニーズ把握により質の向上を図る。	顧客満足度スコア向上、問い合わせ数・利用契約数増加、安全運転緊急取り組みシートの活用

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員の人財育成により、認知症ケア等、専門性の高いサービスを提供します。	研修の受講率、無資格者の資格取得

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者の尊厳を守り、チームケアを実現することで安心・信頼のあるサービス提供に努めます。	苦情件数、ヒヤリハット報告数

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
コスト効率の改善と新規顧客獲得数の増加により稼働率をアップし、収益の安定化を図ります。	新規利用者数、利用率の向上、加算の取得

(5)-3 大田区立下丸子高齢者在宅サービスセンター 事業計画書

(通所介護事業所・介護予防・日常生活支援総合事業所：定員 45名)

(認知症対応型通所介護事業所・介護予防認知症対応型通所介護事業所：定員 12名)

①経営目標

	一般+総合	認知	合計	
年間利用率	61.8	77.0	65.0	(%)

②予算概要

事業活動収入計	78,515	57,883	136,398	(千円)
事業活動支出計	81,298	33,760	115,058	(千円)
事業活動収支差額	△ 2,783	24,123	21,340	(千円)

③推進項目に対する達成目標とKPI

③-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
提供サービスごとのニーズを把握し、安全に利用していただける事業所を目指し、サービスの充実を図ります。	ご利用者アンケート集計、分析・安全運転緊急取り組みシート

③-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
認知症（若年性）支援の可視化のため、主要業務のリストアップ、標準業務基準を作成します。	業務基準書、マニュアル、フロー

③-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
法令順守のため法令研修・防災訓練を計画通り遂行します。	防災訓練・研修記録

③-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
利用率維持、コスト管理による支出の管理をします。	目標利用率の維持と支出の適正

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域とのつながりを大切に相談しやすい「地域包括支援センターたまがわ」を目指します。	地域とのつながり 職員の対応力向上 支援の質の向上

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務に関する数値化、可視化に取り組み、改善すべきことを抽出します。	HP更新 相談件数(新規、総数) 超勤時間

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
地域包括支援センターにおけるコンプライアンスへの理解を深めます。	法人内のガバナンス 法的なコンプライアンス 事例から理解を深める

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
区内全域への広報活動、認知症基本法に基づく当事者支援や家族支援を行います。	家族会、当事者会、就労支援、居場所づくりなど

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
支援業務の役割分担、相談窓口の機能強化に努めます。	事業の体系化、次世代育成

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
社会保障制度の理解及び確実な情報提供や支援の提供を行います。	障害年金はじめ、社会保障制度全般のスキルアップ

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
関係機関との連携を深め、相談者の課題によりスムーズに取り組める支援体制を構築します。	連携の質向上・多職種連携の効果向上

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
相談のアクセスを拡大していきます。	相談アクセスの向上

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
職員のコンプライアンス意識を高め、リスクの未然防止を図ります。	コンプライアンス研修受講（全職員）

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者が安心して継続的に通えるようサービス内容に充実を図ります。	新規継続と参加人数の分析

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務の見直しや整理を行い、課題を把握して改善につなげる体制を整えます。	業務課題の抽出と改善実施数

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事故防止や感染対策などご利用者の安全や人権に配慮した運営を行います。	安全管理体制の適切な維持

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—

①推進項目に対する達成目標とKPI

①-1 顧客満足度の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
ご利用者が安心して継続的に通えるようサービス内容に充実を図ります。	新規継続と参加人数の分析

①-2 事業構造の見直し

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
業務の見直しや整理を行い、課題を把握して改善につなげる体制を整えます。	業務課題の抽出と改善実施数

①-3 コンプライアンスの確保

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
事故防止や感染対策などご利用者の安全や人権に配慮した運営を行います。	安全管理体制の適切な維持

①-4 収益力の向上

達成目標	KPI (重要業績評価指標)
—	—